

館内での  
チケット販売は  
ございません。

# 1990年代日本映画

## ——躍動する個の時代

Flourishing Independent Filmmakers: Japanese Films in the 1990s

### 【第1期】

2022年 2月1日(火) — 3月6日(日)

### 【第2期】

2022年 4月5日(火) — 5月1日(日)

会期中の休館日▶▶▶月曜日

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、定員は国立映画アーカイブのHPにてご案内します。会期、上映スケジュールおよび前売指定席券の発売日変更等の場合もHPでお知らせします。

\*マスク着用のない方の入館をお断りします。

\*来館者全員に検温を行います。37.5℃以上の方は入館をお断りします。



国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

前売指定席券のみ販売します。  
障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方も前売指定席券をお求めください。

国立映画アーカイブ[2階]

長瀬記念ホール OZU

各回の開映後の入場はできません。

前売指定席券(販売期間にご注意ください!)

第1期は1月25日(火)以降、第2期は3月29日(火)以降、毎週火曜日10:00amより、チケットぴあにて**翌週(火~日)**上映回の前売指定席券(全席指定席)を販売します(発売日変更等の場合はHPでお知らせします)。

[Pコード:551-909]

前売料金 \*別途手数料がかかります。

一般:520円/高校・大学生・65歳以上:310円/小・中学生:100円/障害者(付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズ:無料(聴覚・視覚障害の方へ:バリアフリー上映回につきましては別途4頁をご覧ください。)

●タイトルの横に\*印が付いている作品は、公開当時成人指定を受けた作品です。小・中学生券はございません。当該の上映回に**女性専用席**を設けます。希望される方は「**女性専用席**」と券種名に記載のある券をご選択ください。料金区分は通常の上映回と同じです。

●**料金区分の違う前売指定席券では入場できません。差額のお支払いで観覧することはできません。**

●学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。**ご提示のない方は入場できません。**

●チケット購入方法や手数料の詳細につきましては、国立映画アーカイブのHPをご覧ください。

下記に該当する方は購入をお控え願います。

新型コロナウイルス感染症について

- 陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方
- 検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方
- ご自身の身近に感染の疑いがある方
- 過去14日間以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方

入場方法

- 前売指定席券は来館前に必ず発券をお願いします。
- 開場は開映30分前です。
- 各回の開映後の入場はできません。

表紙画像:二十才の微熱 ©ぴあ・ポニーキャニオン

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。  
上映会番号446

## 1990年代日本映画

## ——躍動する個々の時代

Flourishing Independent Filmmakers: Japanese Films in the 1990s

昨年の企画上映「1980年代日本映画——試行と新生」に続き、1990年代の日本映画特集を開催します。1990年代の日本映画は、ハリウッド大作の勢いに押されて興行では苦戦しながらも、ビデオ市場の広がりや自主制作の隆盛、海外映画祭での評価などの後押しを受けて盛んな創作活動が続き、才能ある個人が娯楽映画から芸術性の高い映画、アニメーションやドキュメンタリー、実験映画まで、映画のさまざまな領域で頭角を現しました。同時に映画の内容も多様化し、家族や地域共同体、国、性別といった既存の境界を超えるような題材が採り上げられ、個と個のつながりが模索されました。個人の感覚に根差したこうした映画作りは、現在の多くの日本映画にも継承されていると言えるでしょう。

企画上映「1990年代日本映画——躍動する個々の時代」は、時代を代表するヒット作や新しい才能による重要作などを中心に、計66本(57プログラム)によって、1990年代の日本映画を回顧します。当館のみならず、国内外を通して前例のない試みとなります。皆様のご来場をお待ちしています。

- ◎=監督 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色 ◎=撮影
- ◎=美術 ◎=音楽 ◎=出演 ◎=声の出演
- ◎=解説・ナレーション
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- タイトルの横に\*印が付いている作品は、公開当時成人指定を受けた作品です。当該の上映回に女性専用席を設けます。

## マスク着用のない方の入館をお断りします。

## 当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策

- 来館者全員への検温を実施。
- 館内各所に手指用消毒液を設置。
- 清掃・消毒を強化。
- ホール内の換気を強化。
- スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。
- 受付などの対面場所に飛沫ガードを設置。

## ご来館の皆様へお願い

- 発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。
- こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。
- 入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。
- ロビー等での飲食は、蓋の開まる飲み物以外は禁止させていただきます。
- 感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時のご記録をお願いします。

## 1 2/3(木)6:30pm 2/18(金)3:00pm

ネオ チンピラ 鉄砲玉びゅ〜  
(86分・16mm・カラー)

1989年に東映ビデオが開始した「東映Vシネマ」は、その商業的な成功からオリジナルビデオ(OV)の代名詞的存在となり、多くの名シリーズを生み出すとともに、スターや監督を輩出した。本作はVシネマ初期の代表作にして、哀川翔の記念すべき初主演作。ヒットマンを命じられたチンピラ(哀川)を描くやくざものだが、出撃を前にした若者の焦燥や恋愛模様を描いた青春映画として出色。OVとしては異例の売上げを記録し、哀川は一躍スターダムを駆け上がった。

1990(東映ビデオ=東北新社)◎高橋伴明◎安部譲二◎西岡琢也◎三好和宏◎及川一◎伊丹哲也、馬場孝幸◎哀川翔、青山知可子、峰岸徹、飛田ゆき乃、安岡力也、山田辰夫、清水敏治、高岡健二、大杉連、穴戸錠

## 2 4/16(土)6:20pm 4/26(火)6:20pm

## 櫻の園(96分・35mm・カラー)

創立記念日の恒例公演、チェーホフの「櫻の園」に向けて準備する女子高演劇部の物語。吉田秋生の同名漫画が原作だが、映画は公演当日に限定し、少女たちの他愛のない会話から思春期の揺れ動く内面を浮かび上がらせる。日活ロマンポルノから出発し、『ボクの女に手を出すな』(1986)で一般映画へと活動の場を広げた中原俊は、本作で心の機微を掬い取る演出力が認められて多くの賞を獲得し、2008年公開の本作のリメイク作も監督した。

1990(ニュー・センチュリー・プロデューサーズ=サントリー)◎中原俊◎吉田秋生◎じんのひろあき◎藤沢順一◎稲垣尚夫◎熊本マリ◎宮澤美保、中島ひろ子、つみきみほ、白鳥靖代、岡本舞、南原宏治

## 3 4/8(金)6:20pm 4/29(金)3:30pm

ワールド・アパートメント・ホラー  
(99分・35mm・カラー)

漫画家、アニメーション監督として世界的支持を得る大友克洋の初実写作品。東京の再開発地区に建つボロアパートを舞台に、そこに暮らすアジア各国からの労働者たちと地上げにやってくる来たやくざが巻き起こすてんやわんやを描いたホラー・コメディ。主演の田中博樹は1996年にSABU名義で監督デビューを果たし、東アジアを中心に人気を得ることとなった。

1991(ソニー・ミュージックエンタテインメント)◎大友克洋◎今敏◎信本敏子◎篠田昇◎細石照美◎埴島紀見男◎田中博樹、清水宏、南雲勇助、出川哲朗、中川喜美子、翁華栄、アハメッド・アブド・サイード、モジヨ・ムスタファ、中村ゆうじ

## 4 2/19(土)1:00pm 3/1(火)3:00pm

## 無能の人(107分・35mm・カラー)

つげ義春の漫画を映画化した俳優・竹中直人の監督第1作。無気力な日々の中、多摩川べりで石を売る漫画家(竹中)とその家族の姿を描く。小津安二郎をはじめとする松竹映画へのオマージュをちりばめながら、竹中独自のユーモアと人間観が存分に開花している。ヴェネツィア国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞するなど高い評価を受け、以後、竹中は監督としても活躍。

1991(ケイエスエス=松竹第一興行)◎◎竹中直人◎つげ義春◎丸内敏治◎佐々木原保志◎齋藤岩男◎GONTITI◎風吹ジュン、三東康太郎、山口美也子、マルセ太郎、神戸浩、神代辰巳、いとうせいこう、大杉連、草薙幸二郎、須賀不二男、久我美子、原田芳雄、三浦友和



櫻の園

## 5 4/16(土)12:30pm 4/27(水)6:30pm

こぐち  
小口詩子/和田淳子プログラム(計87分)

## おでかけ日記(47分・16mm・カラー)

早稲田大学で演劇を学び身体表現と映像制作を行っていた小口詩子が、太陽に会いに出かけた女性の魂が放浪するさまを日記映画的アプローチで描く。8mmによる撮影。イメージフォーラム・フェスティバル(IFF)1989大賞を受賞。

1988◎◎◎小口詩子

## ばら科たんぽぽ(9分・16mm・カラー)

コマ撮りを取り入れた「無理矢理アニメ」と称する手法により、遊び心あふれる人形ごっこを模してセクシュアリティの混沌を描き出す。TBSテレビ「三宅裕司のえびぞり巨匠天国」で高く評価されたほか、ジェーン・カンピオン短篇特集の併映として劇場公開された。

1990◎◎◎小口詩子

## 眠る花(7分・16mm・カラー)

祖母にカメラを向けた日常のスケッチと何気ない会話から白い花々に埋もれた葬儀のイメージへと飛躍する、死生観を題材とした親密さに満ちた作品。IFF1992審査員特別賞受賞。

1991◎◎◎小口詩子◎小口むめ

## 閉所嗜好症(8分・DCP・カラー)

閉じ込めたい/閉じ込められたいという欲望をめぐる自問自答をセルフヌードを交えて展開する実験映画。イメージフォーラム夏季ワークショップに参加した和田淳子が、初作品として独力で作り、IFF1994に入選。鮮烈な登場を印象づけた。

1993◎◎◎和田淳子

## 桃色ベビーオイル(16分・DCP・カラー)

都市で一人暮らしする若い女性を主人公に、部屋が媒介する妄想を客体化された身体性と詩的モノログによって表現。あびフィルムフェスティバル(PFF)1995入選およびIFF1996大賞を受賞。

1995◎◎◎和田淳子

★4月16日(土)12:30pmの回上映後に小口詩子監督によるトークを行います。

## 6 2/2(水)3:00pm 2/19(土)4:00pm

## ザ・中学教師(105分・35mm・カラー)

教育のあり方に対する挑発的な問題提起が話題となった別冊宝島「ザ・中学教師」シリーズの映画化。「プロ教師」の三上(長塚)は一風変わった教育方針に基づき学校内で起こる問題を次々と解決していく。のちに「学校の怪談」シリーズ(1995-99、全4作のうち3作を監督)や『愛を乞うひと』(1998)などで力量を発揮していく平山秀幸がその名を知らしめた監督第2作。長塚三が典型的な熱血教師とは一線を画す冷静な教師役を好演している。

1992(メリエス=サントリー)◎平山秀幸◎プロ教師の会(埼玉教育塾)◎齋藤博◎柴崎幸三◎いしいいわお◎大谷幸◎長塚京三、藤田朋子、金山一彦、范文雀、谷啓、風吹ジュン、樹木希林、藤田敏八

## 7 2/8(火)3:00pm 2/25(金)6:00pm

## 阿賀に生きる(115分・16mm・カラー)

佐藤真ら7人の映画スタッフが新潟県の阿賀野川流域で3年間にわたって実際に生活しながら、当地の人々の生きざまを映し出したドキュメンタリー。日々の営みに丹念に寄り添うことで、彼らの暮らしを脅かしてきたもの、いまなお残る新潟水俣病の傷跡を静かに浮かび上がらせていく。1990年代以降の日本のドキュメンタリー映画の流れのなかで存在感を示した佐藤の長篇第1作にして、「日常と不在」を見つめ続けた彼の作家的資質が凝縮された作品である。

1992(阿賀に生きる製作委員会)◎佐藤真◎小林茂◎鈴木彬◎経麻朗



ザ・中学教師

8 2/4(金)3:00pm 2/20(日)1:00pm

### 死んでもいい(117分・35mm・カラー)

劇作家出身で、日活ロマンポルノで監督デビューした石井隆による一般映画デビュー作。夫(室田)が継いだ不動産屋で働く名美(大竹)は、駅で見かけた彼女を追って不動産屋に就職した青年・信(永瀬)と不倫関係となり、信の発案で一緒に夫の殺害を計画し始める。ディレクターズ・カンパニーの拠産により撮影途中からアルゴプロジェクトが引き継いで完成させた。暴力的な性描写などもあり、公開当時R指定(現「R15+」)を受けた。

1992(アルゴプロジェクト=サントリー)◎◎石井隆◎西村望◎佐々木原保志◎細石照美◎安川午朗◎大竹しのぶ、永瀬正敏、室田日出男、奥村公延

9 4/9(土)3:20pm 4/26(火)3:00pm

### きらきらひかる(103分・35mm・カラー)

『三月』(1981)などによりPFFで受賞し、『バタアン金魚』(1990)で劇場用映画監督デビューを果たした松岡錠司が、江國香織の同名小説を映画化。アルコール依存症の笑子(葉師丸)は、同性愛者の睦月(豊川)と結婚し、以降、睦月の恋人・紺(筒井)を巻き込んだ奇妙な三角関係が始まる。松岡は世間の偏見に傷つき悩む3人を温かい眼差しで捉え、彼らが紡ぎ出す愛の形をきめ細かいタッチで描く。豊川悦司が数々の映画賞を受賞した出世作。

1992(フジテレビ)◎◎松岡錠司◎江國香織◎笠松則通◎遠藤光男◎茂野雅道◎葉師丸ひる子、豊川悦司、筒井道隆、加賀まり子、岩本多代、大島智子、津川雅彦、川津裕介、土屋久美子

10 2/4(金)6:30pm 2/24(木)6:30pm

### オールナイトロング(90分・35mm・カラー)

通り魔殺人の現場に偶然居合わせた3人の少年たちが、理不尽な暴力にさらされるうちにやがて自分たちの内なる暴力性に目覚めていく。ドキュメンタリー畑出身の松村克弥の長篇第1作。残酷描写が話題となったが、実際の犯罪事件を想起させる生々しい暴力の風景と若者たちの鬱屈を映し出した点において、90年代の切迫した空気をそのまま反映した作品といえる。公開当時はR指定(現「R15+」)を受けた。

1992(大映映像)◎◎松村克弥◎村川聡◎小林正巳◎秋山勝彦、岩永龍則◎角田英介、鈴木亮介、家富洋二、田口浩正、毛利賢一、加山由実、若山幸子、上野美津恵、サード長嶋、ラッシャー木村

11 2/10(木)5:50pm 2/23(水)12:40pm

### 佐野和宏／瀬々敬久プログラム(計126分)

#### Don't Let It Bring You Down\*

(61分・35mm・カラー)

自衛隊の機密文書を持ち出した自衛官(佐野)とその妻(岸)は、映画青年(梶野)の助けも借りて追っ手から逃げて、臨終の際にいる妻の父親のもとに向かう。集団に隷属することへの危機感と映画への愛がストレートに表現されたピンク映画。佐野和宏、佐藤寿保、瀬々敬久、サウトシキは、性表現にとどまらないテーマを導入して「ピンク四天王」と呼ばれ、作家性の面からも評価された。初公開時のタイトルは「変態テレフォンONANIE」。

1993(国映)◎◎◎佐野和宏◎齋藤幸一◎岸加奈子、梶野考、高木杏子、上田耕造、セニョール・ヨネ、津崎公平、今泉浩一

#### End of The World\*

(65分・35mm・カラー)

逃亡中の男女(川瀬、河名)が、女が里子に出した息子(岩崎)を取り返そうと島にやってくるが、息子の里親は警官(伊藤)だった…。息子の奪還をめぐるサスペンスは、広大で荒涼とした三宅島のロケ撮影によって異化させられ、人間の本源の欲望をめぐる寓話劇へと至る。川瀬陽太は本作で瀬々作品に初出演し、以後常連俳優となっていく。初公開時のタイトルは「すげべてんこもり」。

1995(国映)◎◎◎瀬々敬久◎中尾正人◎河名麻衣、川瀬陽太、泉由紀子、伊藤猛、小林節彦、細谷隆広、岩崎誠

12 4/17(日)1:00pm 4/20(水)6:00pm

### 僕らはみんな生きている(115分・35mm・カラー)

『病院へ行こう』(1990)など、この時期コンビ作を連発していた滝田洋二郎監督＝一色伸幸脚本によるコメディ。東南アジアの発展途上国に出張した高橋(真田)ら4人の日本人駐在員が軍事クーデターに巻き込まれ、右往左往する。企業への滅私奉公を余儀なくされてきた日本のサラリーマンたちの姿を戯画的に描き、バブル後の空虚な気分と呼応した。

1993(松竹)◎◎滝田洋二郎◎一色伸幸◎浜田毅◎山口修◎清水靖晃◎真田広之、山崎努、岸部一徳、嶋田久作、ベンガル、螢雪次朗、田根楽子、早見優

13 2/11(金)1:00pm 2/17(木)3:00pm

### 機動警察パトレイバー 2 the Movie(114分・35mm・カラー)

漫画、TVシリーズなど多分野で展開された「機動警察パトレイバー」の劇場版第2作。正体不明の存在によって引き起こされた虚構の爆撃テロによって警察と自衛隊の対立が激化、やがて東京は現実の戦争状態へと突入していく。1992年から始まったPKO協力法にもとづく自衛隊の海外派遣など当時の世相を反映しながら、押井守作品に一貫して見られる虚構と現実、都市の変容といったテーマが突き詰められている。

1993(バンダイビジュアル=東北新社=イング)◎◎押井守◎ヘッドギア◎伊藤和典◎キャラクターデザイン高田明美、ゆうきまさみ◎グラフィックデザイン瀧淵裕、河森正治、カトキハジメ◎演出西久保利彦◎作画黄瀬和哉◎高橋明彦◎小倉宏昌◎川井憲次◎富永みーな、古川登志夫、大林隆之介、榎原良子、池水通洋、二又一成、郷里大輔、千葉繁、阪脩、竹中直人、根津甚八

14 2/9(水)3:00pm 2/20(日)4:00pm

### 二十才の微熱(114分・35mm・カラー)

PFFでグランプリを受賞した『夕顔の秘密』(1989)など自主映画の世界で注目された橋口亮輔は、PFFスカラシップを得て本作で劇場監督デビューを果たした。売春クラブで男たちに体を売っている、どこか冷めた大学生(袴田)を中心に、20歳前後の若者たちのもどかしい心の動きが丁寧に捉えられ、同性愛を題材にした新世代の青春映画として評判を呼び、単館公開したシネマアルゴ新宿では、開館以来最高の大入りを記録した。

1993(ぴあ=ポニーキャニオン)◎◎◎橋口亮輔◎戸澤潤一◎篠崎耕平、磯野晃、村山竜二◎袴田吉彦、遠藤雅、片岡礼子、山田純世、佐藤恒治、原田文男、大河内浩、石田太郎、入江若葉、草野康太

15 4/13(水)3:00pm 4/28(木)6:20pm

### 部屋 THE ROOM(91分・35mm・白黒)

『男の花道』(1986)でPFFグランプリを受賞し、PFFスカラシップ作品『自転車吐息』(1990)で劇場デビューした園子温の2作目。殺し屋(磨)が不動産係員(洞口)の案内のもと、賃貸物件を物色する様子を描く。白黒スタンダード、長廻しの固定ショットを基調として、ミニマルな要素で物語ることを追求した意欲的な実験作。サンダンス国際映画祭審査員特別賞受賞。

1993(アンカーズプロダクション)◎◎◎園子温◎大塚雄一郎◎脇田政法◎岡野太◎磨赤児、洞口依子、佐野史郎、高橋佐代子



トカレフ

16 2/6(日)1:00pm 2/25(金)2:30pm

### J・MOVIE・WARS 月はどっちに出ている(33分・35mm・カラー)

梁石日の『タクシー狂躁曲』を原案として崔洋一が鄭義信と書き上げた長篇用脚本が具体化する過程で、衛星放送番組のため仙頭武則がプロデュースした短篇。オムニバスの「J・MOVIE・WARS」シリーズの一環として劇場公開もされた。

1993(日本衛星放送=ヒルヴィア=東映)◎◎◎崔洋一◎梁石日◎鄭義信◎佐々木原保志◎平井浩一◎石橋凌、ルビー・モレノ、絵沢萌子、利重剛

### 月はどっちに出ている(110分・35mm・カラー)

東京を舞台に在日コリアンのタクシー運転手(岸谷)の日常を描いたコメディ。フィリピン人ホステス(モレノ)との恋を軸に、同僚の日本人やイラン人、そして様々なタイプの在日コリアンを登場させ、相対化して痛快な娯楽映画を作り上げた。外国映画の配給を手がけていた李鳳宇が、初製作にのりだして企画が実現。26週もロングランした興行的成功に加え、国内の映画賞を総なめにした。

1993(シネカノン)◎◎◎崔洋一◎梁石日◎鄭義信◎藤澤順一◎今村力、岡村匡一◎佐久間正英◎岸谷五朗、ルビー・モレノ、絵沢萌子、小木茂光、遠藤憲一、有蘭芳記、磨赤児、國村隼、金田明夫

17 2/8(火)6:30pm 2/26(土)1:00pm

### 河瀬直美プログラム(計89分)

#### 白い月(54分・16mm・カラー)

短篇ドキュメンタリー『につつまれて』(1992)の後に製作された河瀬直美の16ミリ中篇で、『萌の朱雀』(1997)につらなるフィクションへの志向が見て取れる作品。警備員のアルバイトをしている青年(下間)と少女(西脇)の淡い恋の芽生えを描きつつ、故郷・奈良への思いや死生観など、のちの河瀬作品を特徴づけるモチーフが随所に表れている。PFF招待作品に選ばれた。

1993(河瀬直美)◎◎◎河瀬直美◎長谷川智章◎杜奈緒◎下間連嗣、西脇しづ江、手塚孝介、河瀬宇乃、武市深雪、ちゅう太、山中賢司、貝田雅則

#### 風の記憶 渋谷にて 1995.12.26

(35分・DCP・カラー)

道行く人々と持ち物を交換しながら冬の日の渋谷を歩いて見つけた風景をハンディカメラで撮影した短篇。当時の渋谷の空気感とそこに集まる人々の姿がヴィジュアルに捉えられている。

1995(ネットワーク・フィルムズ)◎◎◎河瀬直美

18 2/5(土)3:50pm 2/22(火)6:10pm

### トカレフ(103分・35mm・カラー)

目の前で息子を誘拐された西海(大和)は、復讐心を燃えさせたが、犯人の行方を探し始める。デビュー作『どついたらねん』(1989)以来、勝負に賭ける男の情熱を取り上げた阪本順治が、悲劇へと突き進む男を抑制された演出で描いたハードボイルド・アクション。『鉄拳』(1990)に続き、阪本映画で主役を演じた大和武士の無骨な表情と、佐藤浩市の冷酷で狂気じみた演技が好対照をなし、異様な緊張感を漂わせる。

1994(サントリー=バンダイビジュアル=荒戸源次郎事務所)◎◎◎阪本順治◎徳田寛◎石井勲◎金勝浩一◎梅林茂◎大和武士、佐藤浩市、西山由美、國村隼、芹沢正和、鈴木晋介、水上竜士、伊明剛、頼家大地

19 4/10(日)4:00pm 4/28(木)3:00pm

### 我が人生最悪の時(92分・35mm・パートカラー)

横浜黄金町の映画館の2階に事務所を構える私立探偵・濱マイク(永瀬)を主人公とする3部作(のちにTVシリーズ化もされた)の第1作。アンダーグラウンドに生きる人々の姿を通して「アジアのなかの日本」を描き出す試みは、「アジアンポート」シリーズ(1991-93)から続くこの時期の林海象の眼目であり、中国の民主化運動の主導者でもあったシンガーソングライターの侯健徳の起用にもそうした視点がうかがえる。

1994(フォーライフレコード=映像探偵社)◎◎◎林海象◎天願大介◎長田勇市◎美術監修木村威夫◎増本知寿◎めいなCo.◎永瀬正敏、楊海平、侯健徳、南原清隆、佐野史郎、修健、磨赤児、塚本晋也、穴戸錠、南果歩



31 2/12(土)4:00pm 3/2(水)6:30pm

### 人でなしの恋 (87分・35mm・カラー)

5年間の片思いの末、門野(阿部)と結婚した京子(羽田)。ところが門野は毎晩床を抜け出し、庭にある蔵へ向かうのだが…。創業100周年を迎えた松竹では、新人監督の起用が図られCMディレクター出身の松浦雅子(松浦)が本作で監督デビューを果たした。『RAMPO』(1994、奥山和由版、黛りんたろう版が同日公開)の続篇的な作品として企画されたが、松浦は乱歩の世界を女性の側から描きたいと意気込み、一途であるがゆえに切ないラブストーリーに仕上げた。

1995(松竹=バンダイビジュアル)◎◎松浦雅子◎江戸川乱歩◎佐々木原保志◎部谷京子◎中村幸代◎羽田美智子、阿部寛、吉村美子、藤田敏八、堀江奈々、竹中直人、岡田英次、加藤治子

32 2/16(水)3:00pm 2/26(土)4:00pm

### 冬の河童 (113分・35mm・カラー)

互いに母親を異にする3人の兄弟(趙、和久田、田辺)が住む一軒家に、いとこのサケ子(伊藤)が訪ねて来たことから、兄弟間の微妙な均衡が崩れ始める。高校在学時にPFFに入選して話題となった風間志織が8mm自主長篇『メロデ Melodies』(1989)に続いて撮った長篇2作目。冬の澄んだ空気と淡い光が静謐な木造家屋に漂い、人物の些細な台詞や表情の変化を際立たせている。ロッテルダム国際映画祭タイガー・アワード受賞。

1995(冬の河童ユニット)◎◎風間志織◎小川智子◎鈴木昭彦◎木村威夫◎三柴理◎伊藤亜希子、趙方蒙、和久田理人、久野真紀子、田辺誠一、芹川砂織、浅野あかね、小出由華、辺見俊輔

33 4/5(火)2:40pm 4/23(土)3:00pm

### Shall we ダンス? (136分・35mm・カラー)

毎日同じような、刺激のない日々を過ごすサラリーマンの杉山(役所)は、窓辺に佇んでいる美しいダンス講師(草刈)に引きつけられ、ダンス教室に通い始める。『シコふんじゃった。』(1992)で映画賞を総なめにした周防正行の大ヒット作。小津安二郎映画の常連俳優の名前から役名を付けるなど、デビュー作『変態家族 兄貴の嫁さん』(1984)以来の小津への愛情も垣間見られる。海外でも高い評価を受け、2004年にアメリカでリメイクされた。

1996(大映=日本テレビ=博報堂=日本出版販売)◎◎◎周防正行◎栢野直樹◎部谷京子◎周防義和◎役所広司、草刈民代、竹中直人、渡辺えり子、草村礼子、徳井優、田口浩正、原日出子、柄本明、本木雅弘

34 4/12(火)6:10pm 4/30(土)3:20pm

### おかえり (99分・35mm・カラー)

在宅ワーカーの百合子(上村)と塾講師の孝(寺島)の日常を通じて、精神的バランスを失っていく妻と寄り添おうとする夫の関係性を静謐に描く。自主映画制作や映画ライターを経た篠崎誠の劇場用映画デビュー作。ベルリン国際映画祭最優秀新人監督賞はじめ教多く受賞し、50以上の国際映画祭で上映。『CURE』(1997、黒沢清)や『2/デュオ』(1997、諏訪敦彦)の男女間の描写にも影響を及ぼした。

1996(コムテック)◎◎篠崎誠◎山村玲◎古谷伸◎寺島進、上村美穂、小松正一、堀江あやか、青木富夫、諏訪太郎、高橋紳吾



冬の河童 ◎風間志織

35 2/3(木)2:30pm 2/27(日)3:15pm

### シャブ極道\* (165分・35mm・カラー)

山之内幸夫の小説『シャブ荒らし』を原作として、1970年代から90年代にかけて弱小暴力団の若頭からのし上がっていく真壁(役所)の逞しい生きざまを描く。パブルとその崩壊や暴力団新法、阪神・淡路大震災といった背景を活写した年代記としても興味深い。今村昌平、長谷川和彦、相米慎二、根岸吉太郎に師事した細野辰興が、喜劇性を織り交ぜた骨太なタッチで演出。公開当時、薬物描写により成人指定を受けた。

1996(大映)◎◎細野辰興◎◎山之内幸夫◎成島出◎山本英夫◎柴田博英◎数中博章◎役所広司、早乙女愛、菅田俊、高橋明、春やすこ、南方英二、白石ひとみ、藤田博、本田博太郎、渡辺正行

36 4/14(木)6:30pm 5/1(日)1:00pm

### Helpless (78分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

『J・MOVIE・WARS 3』の1本で、青山真治の劇場用映画第1作。舞台は北九州、やくざの松村(光石)から荷物と妹(辻)を預かった高校生・白石(浅野)は、待ち合わせ場所のドライブインで待つが、その主人らとトラブルになる。長廻しを基調に、衝動に突き動かされる男たちを演出。突発的なアクションに、物語的な動機付けを超えた迫真性が生まれている。

1996(WOWOW=バンダイビジュアル)◎◎◎青山真治◎田村正毅◎磯見俊裕◎山田功◎浅野忠信、光石研、辻香緒里、斎藤陽一郎、伊佐山ひろ子、諏訪太郎、永澤俊矢

37 2/15(火)6:20pm 3/5(土)4:40pm

### ひみつの花園 (83分・35mm・カラー)

お金が大好きな銀行員・咲子(西田)が、銀行強盗事件で消えた5億円を追い求めて全力を挙げて邁進するというコメディ。女子高生の受難を喜劇として描いたPFFスカラシップ作品『裸足のピクニック』(1993)で劇場映画デビューした矢口史靖が、前作から一転して、能動的なヒロイン像を鮮烈に描いた2作目。東宝がびあと提携して若手監督を後押しする『YESレーベル』第2弾として製作された。

1997(東宝=びあ)◎◎◎矢口史靖◎◎鈴木卓爾◎岸本正広◎矢倉邦晃◎西田尚美、利重剛、角替和枝、田中規子、鶴田忍、内藤武敏、加藤貴子、西牟田恵、相川直、伊集院光、徳井優、濱田マリ、松岡俊介

38 2/18(金)6:10pm 2/27(日)12:30pm

### 鬼火 (102分・35mm・カラー)

金井勝や中村幻児のもとで学び、『スキンスナイト』(1991)で注目された望月六郎が監督。出所して暴力団の運転手となった国広(原田)は、スナックで出会った麻子(片岡)から拳銃が欲しいと依頼される。自身に走る金融やくざが闊歩するなか、やるかやられるかの世界に生きてきたやくざを、オフビートな笑いも込めて原田芳雄が緩急自在に演じる。

1997(ギャガ)◎◎望月六郎◎◎山之内幸夫◎森岡利行◎今泉尚亮◎柴田博英◎神尾憲一◎原田芳雄、片岡礼子、哀川翔、北村康、奥田瑛二、水上竜士、常川博行、山本竜児、南方英二

39 2/2(水)6:30pm 3/3(木)3:00pm

### 東京夜曲 (87分・35mm・カラー)

『東京兄妹』(1995)、『トキワ荘の青春』(1996)で評価を高めた市川準が「大人の恋愛映画」を撮りたいと意図し、寂れた商店街を舞台に男女4人の交錯する想いを描く。古びた日常空間が際立つ間野重雄の美術、小林達比古の繊細な撮影も見事。作家性の高い作品を松竹系チェーンにおいて興行する『シネマジヤパネスク』の第3弾として公開された。

1997(衛星劇場)◎◎市川準◎佐藤信介◎小林達比古◎間野重雄◎清水一登、れい子◎塚塚京三、桃井かおり、倍賞美津子、上川隆也、有福正志、川野弘毅、八反田勝就、前田昌代、はやし・こば、朝霧鏡子、花沢徳衛

40 4/8(金)3:00pm 4/24(日)3:50pm

### もののけ姫 (133分・35mm・カラー)

タタリ神を倒した際に呪いの傷を負ったアシタカ(松田)は村を追われ、呪いを解くために旅立つ。セル画を用いた最後のジブリ作品。作画枚数14万枚という途方もない労力をかけて製作され、当時の日本の歴代興行成績を塗り替えた20世紀日本映画の金字塔。文明と自然の対立という大きなテーマを持ちながらも、細部まで作りこまれた世界は様々な解釈を呼び込み、現在でも注目を集め続けている。

1997(徳間書店=日本テレビ=電通=スタジオジブリ)◎◎◎宮崎駿◎奥井敦彦◎監修◎安藤雅司◎山本二三、田中直哉、武重洋二、黒田聡◎久石譲◎松田洋治、石田ゆり子、田中裕子、小林薫、西村雅彦、上條恒彦、美輪明宏、森光子、森繁久彌

41 4/17(日)4:00pm 4/22(金)3:40pm

### OL忠臣蔵 (113分・35mm・カラー)

90年代後半に急増した外資による企業買収を背景に、それに立ち向かう女性社員たちが奮闘するコメディ。中堅の通販会社を舞台として、カスタマーサービス課に左遷されたふぶき(坂井)を中心に、秘書や人事部そして配送センターで働く契約社員など、様々な境遇の女性たちが連帯し、シスターフッドが発揮される。監督の原隆仁は、森田芳光の助監督出身で、『夜逃げ屋本舗』シリーズ(1992-95)ははじめ世相を盛り込んだエンタテインメント作品を得意とする。

1997(光和インターナショナル)◎◎◎原隆仁◎神山由美子、長崎行男、真崎慎爾◎浜田敏◎今村力◎大島ミチル◎坂井真紀、細川直美、吉野公佳、中島ひろ子、井出薫、南果歩、奥山佳恵、長門裕之

42 4/7(木)6:00pm 4/30(土)6:00pm

### CURE (111分・35mm・カラー)

首をX字に切り裂く殺人事件が連続するなか、得体の知れない男(萩原)が捜査線上に浮上する。1980年代末から90年代にかけてTVドラマやOVを中心に活動する一方、『スイートホーム』(1989)、『地獄の警備員』(1992)などのホラー映画を発表してきた黒沢清が、不安を増幅させる低音のノイズと静かな空間演出によって、潜在意識のなかに存在する殺意の恐怖を描いたサスペンス。海外にも紹介され、黒沢の国際的な知名度を上げるきっかけとなった。

1997(大映)◎◎◎黒沢清◎喜久村徳章◎丸尾知行◎ゲイリー・芦屋◎役所広司、萩原聖人、うじきつよし、中川安奈、河東燈士、洞口依子、大杉漣

43 2/13(日)4:00pm 3/4(金)6:10pm

### HANA-BI (103分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

刑事・西(たけし)は職を辞して、余命わずかの妻(岸本)と旅に出る。「キタ・ブルー」と称される青の強い色調、下半身不随となった同僚・堀部(大杉)が描く絵画、富士山や桜といった日本らしさを強調した光景など、多様な美的要素が画面いっぱいになり、それまでの北野作品から一線を画す。ヴェネツィア国際映画祭金獅子賞を受賞し、北野は監督としての名声を国内外で確立した。

1997(バンダイビジュアル=テレビ東京=TOKYO FM=オフィス北野)◎◎◎北野武◎山本英夫◎磯田典宏◎久石譲◎ビートたけし、岸本加世子、大杉漣、寺島進、渡辺哲、白竜、薬師寺保栄

44 2/6(日)4:30pm 3/2(水)3:50pm

### リング (95分・35mm・カラー)

強い怨念がこめられたビデオテープによって、呪いの連鎖に巻き込まれていく人々の恐怖を描く。『女優霊』(1996)で注目を集めた中田秀夫と脚本家・高橋洋のコンビが、鈴木光司のベストセラー小説を映画化。「本当に怖い」と口コミで話題を呼び、1990年代に入って野心的な実験が繰り返されていたジャパニーズ・ホラーの水準の高さを広く一般観客に知らしめた。

1998(角川書店=ポニーキャニオン=東宝=IMAGICA=アシミック=オメガ・プロジェクト)◎◎中田秀夫◎鈴木光司◎高橋洋◎林淳一郎◎斎藤岩男◎川井憲次◎松嶋菜々子、中谷美紀、竹内結子、佐藤仁美、沼田曜一、松重豊、真田広之



# 1990年代日本映画——躍動する個の時代

Flourishing Independent Filmmakers: Japanese Films in the 1990s

第1期

月	火	水	木	金	土	日
31	25 居酒屋ゆうれい 3:00pm (110分)	6 ザ・中学教師 3:00pm (105分)	35 シャブ極道* 2:30pm (165分)	8 死んでもいい 3:00pm (117分)	30 新宿黒社会 チャイナマフィア戦争 1:00pm (101分)	16 月はどっちに出ている 他 (計143分) 1:00pm
	20 夏の庭 The Friends 6:00pm (113分)	39 東京夜曲 6:30pm (87分)	1 ネオ チンピラ 鉄砲玉びゅ〜 6:30pm (86分)	10 オールナイトロング 6:30pm (90分)	18 トカレフ 3:50pm (103分)	44 リング 4:30pm (95分)
7	7 阿賀に生きる 3:00pm (115分)	14 二十才の微熱 3:00pm (114分)	22 佐藤寿保/サウトシキ プログラム* 2:30pm (計132分)	13 機動警察パトレイバー 2 the Movie 1:00pm (114分)	27 Love Letter 1:00pm (116分)	25 居酒屋ゆうれい 1:00pm (110分)
	17 河瀬直美プログラム 6:30pm (計89分)	54 月光の囁き 6:10pm (100分)	11 佐野和宏/瀬々敬久 プログラム* 5:50pm (計126分)	46 PERFECT BLUE 4:00pm (81分)	31 人でなしの恋 4:00pm (87分)	43 HANA-BI 4:00pm (103分)
14	52 洗濯機は俺にまかせろ 3:00pm (102分)	32 冬の河童 3:00pm (113分)	13 機動警察パトレイバー 2 the Movie 3:00pm (114分)	1 ネオ チンピラ 鉄砲玉びゅ〜 3:00pm (86分)	4 無能の人 1:00pm (107分)	8 死んでもいい 1:00pm (117分)
	37 ひみつの花園 6:20pm (83分)	57 日曜日は終わらない 6:20pm (90分)	26 ガメラ 大怪獣空中決戦 6:20pm (95分)	38 鬼火 6:10pm (102分)	6 ザ・中学教師 4:00pm (105分)	14 二十才の微熱 4:00pm (114分)
21	27 Love Letter 3:00pm (116分)	11 佐野和宏/瀬々敬久 プログラム* 12:40pm (計126分)	46 PERFECT BLUE 3:00pm (81分)	16 月はどっちに出ている 他 (計143分) 2:30pm	17 河瀬直美プログラム 1:00pm (計89分)	38 鬼火 12:30pm (102分)
	18 トカレフ 6:10pm (103分)	22 佐藤寿保/サウトシキ プログラム* 3:50pm (計132分)	10 オールナイトロング 6:30pm (90分)	7 阿賀に生きる 6:00pm (115分)	32 冬の河童 4:00pm (113分)	35 シャブ極道* 3:15pm (165分)
28	4 無能の人 3:00pm (107分)	44 リング 3:50pm (95分)	39 東京夜曲 3:00pm (87分)	20 夏の庭 The Friends 3:00pm (113分)	26 ガメラ 大怪獣空中決戦 1:00pm (95分) ★バリアフリー上映	54 月光の囁き 1:00pm (100分)
	30 新宿黒社会 チャイナマフィア戦争 6:10pm (101分)	31 人でなしの恋 6:30pm (87分)	52 洗濯機は俺にまかせろ 6:10pm (102分)	43 HANA-BI 6:10pm (103分)	37 ひみつの花園 4:40pm (83分)	57 日曜日は終わらない 4:00pm (90分)

- 開場は開映30分前です。
- 各回の開映後の入場はできません。
- \*印は当該の上映回に女性専用席を設けます。
- 前売指定席券のみ販売します。館内でのチケット販売・発券はありません。
- 各日11:00amに開館します。



眠る花



ガメラ 大怪獣空中決戦

©KADOKAWA NH1995



Shall we ダンス?

©1995 KADOKAWA 日本テレビ 博報堂DYメディアパートナーズ 日販



耳をすませば

© 1995 柊あおい/集英社・Studio Ghibli・NH.



新宿黒社会 チャイナマフィア戦争

©KADOKAWA1995

## 小ホール上映企画情報

### NFAJコレクション 2022 冬

日本映画や外国映画、劇映画やドキュメンタリーなど、国立映画アーカイブの多種多様なフィルムコレクションに光を当てる上映企画を下記日程で開催します。詳しくは当館HPをご覧ください。

2022年2月11日(金・祝)―27日(日)

\*金・土・日曜のみ

# 1990年代日本映画——躍動する個の時代

Flourishing Independent Filmmakers: Japanese Films in the 1990s

第2期

月	火	水	木	金	土	日
4					53 第七官界彷徨 尾崎翠を探して (108分)	49 踊る大捜査線 THE MOVIE 湾岸署史上最悪の3日間! (119分)
	33 Shall we ダンス? 2:40pm (136分)	55 M/OTHER 6 2:50pm (147分)	48 [A] 7 2:30pm (135分)	40 もののけ姫 8 3:00pm (133分)	9 きらきらひかる 9 3:20pm (103分)	19 我が人生最悪の時 10 4:00pm (92分)
	51 ワンダフルライフ 6:00pm (118分)	23 毎日が夏休み 6:20pm (93分)	42 CURE 6:00pm (111分)	3 ワールド・アパートメント・ ホラー 6:20pm (99分)	24 800 TWO LAP RUNNERS 6:10pm (109分)	
11					5 小口詩子／和田淳子 プログラム 12:30pm (計87分) 上映後トークあり	12 僕らはみんな生きている 1:00pm (115分)
	45 ユキエ 12 3:00pm (93分)	15 部屋 THE ROOM 13 3:00pm (91分)	50 avec mon mari 14 3:00pm (96分)	29 耳をすませば 15 3:00pm (111分)	28 エコエコアザラク WIZARD OF DARKNESS 16 3:50pm (81分)	41 OL忠臣蔵 17 4:00pm (113分)
	34 おかえり 6:10pm (99分)	47 鬼畜大宴会* 6:10pm (107分)	36 Helpless 6:30pm (78分)	56 アイ・ラブ・ユー 6:00pm (112分)	2 櫻の園 6:20pm (96分)	
18				53 第七官界彷徨 尾崎翠を探して (108分)	23 毎日が夏休み 12:20pm (93分)	29 耳をすませば 12:50pm (111分)
	24 800 TWO LAP RUNNERS 19 3:00pm (109分)	49 踊る大捜査線 THE MOVIE 湾岸署史上最悪の3日間! 20 3:00pm (119分)	56 アイ・ラブ・ユー 21 3:00pm (112分)	41 OL忠臣蔵 22 3:40pm (113分)	33 Shall we ダンス? 23 3:00pm (136分)	40 もののけ姫 24 3:50pm (133分)
	21 大木裕之プログラム* 6:00pm (計120分)	12 僕らはみんな生きている 12 6:00pm (115分)	45 ユキエ 6:20pm (93分)	28 エコエコアザラク WIZARD OF DARKNESS 6:30pm (81分)	50 avec mon mari 6:20pm (96分)	
25				48 [A] 12:00pm (135分)	51 ワンダフルライフ 12:20pm (118分)	36 Helpless 1:00pm (78分)
	9 きらきらひかる 26 3:00pm (103分)	21 大木裕之プログラム* 27 3:00pm (計120分)	19 我が人生最悪の時 28 3:00pm (92分)	3 ワールド・アパートメント・ ホラー 29 3:30pm (99分)	34 おかえり 30 3:20pm (99分)	55 M/OTHER 31 3:30pm (147分)
	2 櫻の園 6:20pm (96分)	5 小口詩子／和田淳子 プログラム 6:30pm (計87分)	15 部屋 THE ROOM 6:20pm (91分)	47 鬼畜大宴会* 6:10pm (107分)	42 CURE 6:00pm (111分)	

- 開場は開映30分前です。
- 各回の開映後の入場はできません。
- \*印は当該の上映回に女性専用席を設けます。
- 前売指定席券のみ販売します。館内でのチケット販売・発券はありません。
- 各日11:00amに開館します。

**前売指定席券の購入方法**

[Pコード:551-909] \*販売期間にご注意ください!  
第1期は1月25日(火)以降、第2期は3月29日(火)以降、毎週火曜日10:00amより翌週(火-日)上映回分を販売  
チケットぴあサイト <https://w.pia.jp/t/nfaj-1990/>

セブン-イレブン(店頭のマルチコピー機)で購入  
▶各回の上映1時間前まで

チケットぴあのサイトで購入  
▶購入時期によってご利用可能な決済方法が異なります。上映当日は、クレジットカードまたはちょコム決済で各回の上映1時間前まで購入が可能です。  
⇒決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。  
\* 前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。  
\* 必ず発券してからご来館ください。  
\* セブン-イレブンでの購入では座席選択ができません。全体的に散らばるよう自動で割り振られます。  
\* 手数料等の詳細や購入方法に関する最新情報については、チケットぴあのサイト<https://t.pia.jp/>をご覧ください。  
\* 本前売指定席券購入に、システム利用料はかかりません。

**展示室(7階)**

**[企画展]** 常設展「NFAJコレクションでみる日本映画の歴史」も併設されています。

**MONDO**  
映画ポスターアートの最前線  
MONDO: The Front Runner of Film Poster Art  
2021年12月7日(火) — 2022年3月27日(日)  
\* 月曜日および3月8日(火) — 3月13日(日)は休室です。  
主催: 国立映画アーカイブ、京都国立近代美術館  
特別協力: MONDO

開室時間—午前11時—午後6時30分(入室は午後6時まで)  
料金(常設展・関連企画共通)—一般250円(200円)  
／大学生130円(60円)／65歳以上・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。  
\* 国立映画アーカイブの上映観覧券(鑑賞後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分  
\* 上映をご覧になるお客様へ。チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600  
ホームページ: [www.nfaj.go.jp](http://www.nfaj.go.jp)  
Twitter: @NFAJ\_PR Facebook: NFAJPR  
Instagram: nationalfilmarchiveofjapan